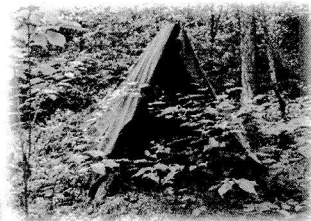


近況報告①

今後の方針が定まり、新しい炭窯を作ることになりました。炭窯を作ることは、時山炭保存会の発足時の目的の一つでしたので、予定を前倒しすることにしました。

炭窯を作る場合、まっさらな場所で作るより炭窯の跡地を利用した方が作りやすいため、また参考のために炭窯跡地を見てきました。山の中にはたくさんの窯跡がありましたが、道のそばにはなかなかありませんでした。何とか道のそばで炭焼きをしたいものです。(夜、山の中に行くのはとても怖いです…)

〈裏面下に続きます〉



山の中にある炭窯跡



炭窯跡地を見て思うこと

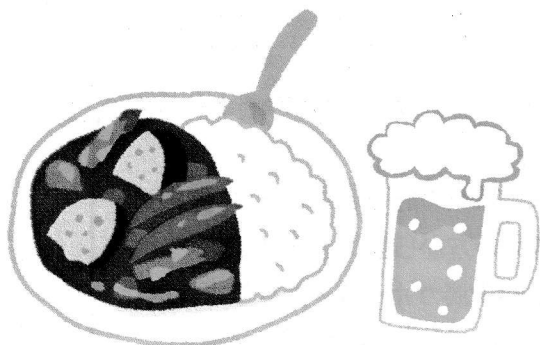


昔は木がいろいろと使われていました。

昔の人は山の資源を利用しながら生活していました。だんだんと便利になって、枯れ枝を集めなくなり、そこから菌が繁殖し枯死木(こしぼく)につながるそうです。また木を切らなくなることで、光や風が入りにくくなり、環境が悪化すると聞きます。

海の牡蠣の育成が悪かったことから山を手入れすることにより、元気に育ったという話もあります。山と海もつながっているんですね。

便利さを活かすことと不便さを楽しむこと。これらをうまく調和させることが難しい課題です。



カレーも体を冷やす作用があります。
今年の夏の土用は7月20日から18日間。

鍼灸師としての雑感 ～夏の養生～

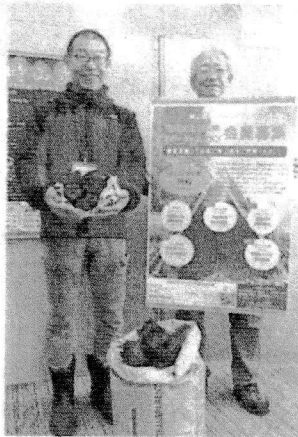
暑い時にはきゅうりやトマトをかじるといいですね。体の余分な熱を処理してくれます。特にウリ科の食べ物はカリウムが豊富で夏にはぴったりです。夏にビールが美味しいのは麦に熱を冷ます効果があるからかもしれません。麦茶もそうですね。

暑いからといって冷たいものばかり体に入れると内臓が冷えて機能低下につながります。冷たいものを摂る代わりに、ほどほどに汗をかいてしっかり熱を放出しましょう。

と言いながら、冷たいビールで一杯やりたくなりますね。

裏面もあります

「時山炭」サポーター募集



大垣市上石津地域の特産だった炭の復活をめざす地元保存会が、会員組織「時山炭サポーターズクラブ」を発足させた。炭の良さを知って使い続けてもらうのがねらい。会員になると炭焼き体験イベントへの参加など特典がある。時山地区は、明治時代から製炭業が盛んだったが、1960年代には木炭の需要が激減。後継者不足と高齢化で4

時山炭サポーターズクラブの会員を募る中村明弘さん(左)＝大垣市役所

利用増へ組織発足 炭焼き体験など特典

年ほど前に技術が途絶えた。昨年3月に住民有志が保存会を設立し、8月には、大垣市地域おこし協力隊員として中村明弘さん(45)が着任。製炭の方法を知る古老たちから技術を学びながら、炭づくりを始めた。これまでに1600*ほどの「時山炭」ができた。価格はツバキやケヤキなどの広葉樹でつくった一級品が1*3050円。木目が詰まった木を使い、門外不出の技術で焼く「時山炭」は火力が強く、火持ちが良いほか、はげにくく、煙が少ないのが特徴だという。炭焼きで生計を立てていくためには、安価な外国製の差別化を図る必要がある。そ

こで保存会は、完全復活をめざす「時山炭」の取り組みを理解し、伝統文化の炭づくりを支えてくれるサポーターズクラブを発足させることとした。

入会費、年会費は無料。会員になると、「時山炭」1*を無料で受け取れるほか、会員価格での販売(1*50円引き)やロゴマーク入りの会員証の発行、協力隊通信の送付、炭焼き体験などのイベントに参加できる特典がある。中村さんは「伝統文化を守るには、使ってもらうことが大切。炭づくりをすることで荒れていた山に人の手が入り、森も豊かになる」と話す。申し込みと問い合わせは、市上石津地域事務所(0584・45・3113)へ。

(松永佳伸)

近況報告②

新しい炭窯を作るために材料集めを始めると、それを解決してくれる人が現れるのは上石津町の素晴らしいところの一つだと思います。

窯跡を探してくれたり、赤土の採取場所を教えてくれたり、赤土採取の許可をくれたり、屋根造りに必要な竹・トタン・傘釘を提供してくれたり、今回も本当に多くの方から協力を頂きました。

これからの炭窯作りも多くの方の力を借りることになります。時山炭サポーターズクラブ会員様にボランティアの募集をするかもしれません。その時はメールアドレスを登録されている方にメールを送らせていただこうと思っています。そろそろ頂いた善意の滞納で首が回らなくなりそうです。

材料は集まったので、次は炭窯跡地の選定です。これが終わると、いよいよ炭窯作りがスタートします。以前は、経験者が十数人集まって窯を打って作っていました。今回は窯打ち経験者が少なく、私も初めてのことなので不安ですが、皆様の善意に応えるためにも一つずつこなしていきたいと思います。引き続き温かく見守ってください。